石神台 防災かわら版

石神台自治会防災部
自主防災委員会
広報班
７８号
令 和４年１１月

11月5日「大磯町津波土砂避難訓練」行わる！

― 石神台では「土砂災害、安否確認の黄旗掲出訓練」―

１１月５日（土）午前９時より行われた町の津波土砂避難訓練に呼応して、津波の心配のない石神台では、土砂災害を想定し、黄旗掲出の安否確認の訓練が行われました。

その結果について、日高防災部長から次のような報告と感想が寄せられました。

黄旗掲出「安否確認」訓練結果

訓練年月日	１１月５日
対象世帯数	６５４
黄旗掲出数	３６４
黄旗掲出率	５５．６％

＊２名の街区について調査票を回収できませんでした。

① 訓練の前提は、大雨や台風などで土砂災害警戒区域の斜面崩落を想定し、「いっとき避難所」の各公園には土砂崩落で避難することが出来ず、「指定緊急避難所」の公民館に直接避難することを想定した安否確認の訓練としました。その上で各街区役員の方々には、各戸の黄旗掲出状況を確認し、その結果（安否確認調査表）を会館本部まで持参してもらうことにしました。

② 公民館から遠い街区は、本部まで距離があり、持参するのに苦労されたようです。

③ 当日都合の悪く提出ができない役員の代わりに、近所の方が代理提出した街区もありました。この行為は、実際の発災時には非常に重要と感じ入りました。

（当日の黄旗掲出と本部写真）

④ 提出時、持参された街区役委員に、担当街区の「いっとき避難所」を口頭で質問しました。ほとんどの方が正しく認識されていました。すばらしい…。

⑤ また、中央公園は、水道山に近く土砂災害警戒区域であるため、大雨、台風の際の「いっとき避難所」としてはふさわしくないと認識されていました。

⑥ 黄旗掲出率は、良好とは言えませんが地震災害とは、別の災害を想定しての訓練で意義があったと思います。（以上）

各家庭では緊急無線速報があってからどんな対応が取られましたか。５０％、半分以上が行動を取られたということは大変なことだと思います。ご協力に感謝します。

災害時等の公衆電話の使用方法

家族で確認し合っておきましょう…公衆電話の使い方。（公衆電話関連情報HP参照）

機種外観	
緊急通報の使用方法※1	硬貨やテレホンカードは**不要**です。受話器を上げ、**そのまま**１１０番等を押します。

にこにこマークは無事の印
訓練日みんなで出そう黄色旗

毎月の第１土曜日 午前中

12月は 3日
1月は 7日
です。

「いざ」という時にあわてない訓練をしよう！